

1 この科目の構成について

教 科	家庭科	科 目	家庭基礎	単 位	2単位
対象コース	全コース	対象クラス	1年1組～8組		
使用教科書	家庭基礎～ともに生きる 明日をつくる (教育図書)				
使用副教材	なし				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得してもらいます。また、家庭生活の向上を図る能力と実践的な態度を身につけてもらいます。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	(1) 人の一生と家族→家族が協力して生活を築いていく意識を高め、生活の仕組みや仕方を知ります。 (2) 高齢者→高齢者の心身の特徴や生活について理解します。 (3) 食生活→食物についての基本的な知識や技術を身につけます。 (4) 衣生活→衣服についての基本的な知識や技術を身につけます。 (5) 消費生活→消費生活、地域や社会の環境についての知識や理解を深めます。 (6) 保育→子供の発達や親の役割についての知識や理解を深めます。 (7) 住生活→心地よい住まいのあり方についての知識や理解を深めます。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	(1) 学校 授業では、毎回プリントが配布されます。プリントを記入するだけでなく、口頭での説明も大切なことがあります。現在の生活に役立つ知識を説明する場合がありますので、メモをしておくことより良いでしょう。 (2) 家庭 授業で得た知識を実生活で応用できるように、日頃から心掛けることが大切です。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	(1) 定期考査→年2回(第2回と第4回)行います。授業で学習した内容が出題されます。 (2) エプロン製作→エプロンを完成させ、ミシン縫いやボタンの付け方がよいかチェックします。 (3) 調理実習→実習に望む態度が意欲的か、エプロンを忘れてきていないかを見ます。 (4) ワークシート→グループ学習で意見などを記入したプリントを提出しているかチェックします。
評価における定期考査の割合	
	80%

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	(1) 関心・意欲・態度 授業での発言が積極的であり、実習に取り組む姿勢が意欲的かを評価します。 (2) 思考・判断 授業での知識を活かし、物事を発展的に考えられるかを、授業の最後に提出する意見・感想のコメントで評価します。 (3) 技能・表現 被服製作での作品の仕上がりが良いかを評価します。 (4) 知識・理解 授業で学んだ知識が身に付いているかを定期考査や小テストで評価します。

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点					
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容		関	思	技	知
1 学 期	4	第1部 ともに生きる 第1章 人の一生と家族 1. 人生って何だろう？ 2. 青年期の課題とは？ 3. 家族って何だろう？ 4. 家族と社会とのかかわりは？	1. 家族の形態が多様化していることを理解し、家族や家庭生活のあり方を考えます。→ 道徳教育を実施 2. 各ライフステージの特徴と課題について理解し、青年期の課題を踏まえ、将来の生活の見通しを考えます。 3. 家族の役割を知り、家族のあり方について考えます。 4. 生活の安定には、法律が必要であることを知ります。 (確認小テストを行います。)		●	●		●
	5				●	●		●
	6	第2回考査						●
	7	第3章 高齢者 1. 社会はどう高齢化するのだろうか？ 2. 超高齢社会の課題は？ 3. 高齢期ってどういう時期？	1. 高齢者・高齢社会の意味を知り、私達が高齢者との暮らしの中で出来ることは何か考えます。→ 道徳教育を実施 2. 日本が高齢社会であることを理解し、保健医療や社会福祉サービスの充実が必要なることを知ります。 3. 加齢にともない、感覚機能、身体機能、精神機能が低下することを理解し、若い時からの健康管理が大切なことを理解します。 また、高齢者疑似体験キットを使って動いたり字を読んだりすることで、不自由さを体験します。		●	●		●
2 学 期	8	半完成品エプロンの作成	ミシンの基本的な使い方を理解し、半完成品のエプロンを使って、ポケット布の裁断・ポケット付け・裾縫い・仕上げを行います。				●	
	9	第2部 暮らしをつくる 第2章 衣生活 1. なぜ服を着るの？ 2. 衣服の成り立ちと性質を考えよう 3. 衣服はどのように管理する？	1. 衣服内気候の仕組みを理解し、環境にあった衣服を着ることの重要性を知ります。 2. 衣服材料についての理解を深め、衣服の成り立ちを理解します。 3. 繊維製品の品質表示の見方を理解し衣服の管理や保管の仕方について考えます。		●	●		●
	10				●	●		●
	11	第1章 食生活 1. 食生活を見つめてみよう 2. 食品の選択と取り扱い 3. 献立づくりと調理 第1回調理実習 第2回調理実習 第3回調理実習 第4回調理実習	1. 自分の食生活を振り返り、栄養をとるだけでなく、精神的、文化的な食を行うことの重要性を理解します。 エネルギーとなる栄養素・からだをつくる栄養素・からだの機能を調節する栄養素の種類やはたらきを理解します。また、各栄養素を多く含む食品を知り、自分の食生活を見直します。 2. 食品の選び方や保存について学び、食品の安全管理について理解を深めます。 3. 調理実習では、調理を通じて、基本的な調理技術を習得し、時間内に安全な調理が出来るようになるとともに、つくることの楽しさを知ります。		●	●		●
	12	第4回考査						●
3 学 期	1	第4章 消費生活 1. 何をどうやって買う？ 2. 自立した消費者とは？ 3. 家計はどう管理する？	1. 無駄な買い物について考え、買い物に失敗しないためにはどうすればよいか知ります。 2. 支払方法の多様化を知り、中でも消費者信用の利点と欠点を考えます。また、消費者問題を取り上げ、トラブルにあわないためにはどうすれば良いか考えます。 3. 家庭経済と社会との関わりを理解します。 4. 家計の内訳を知り、収入と支出のバランスを保つことの重要性を考えます。		●	●		●
	2	4. 暮らしに必要なお金は？ 第3章 住生活 1. 誰が暮らしているのだろうか？ 2. どのように暮らす？	1. 住まいの役割を知り、空間がどう構成されているのかを理解します。 2. 快適な住生活に求められる条件を知り、そのために自分にできることは何かを考えます。		●	●		●

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知				
3 学 期	3	第1部 ともに生きる 第2章 保育 1. 子どもはどう育つのだろう？ 2. 親になるとはどういうことか？	1. 子どもの心身の発達について理解を深めます。 2. 親としての役割を考え、食生活や衣生活における子どもの世話の仕方を学びます。	●		● ●	● ●				

